

静岡市内の医師4人が外国人医療支援などについて話し合うシンポジウムが17日、静岡市葵区の市民文化会館であり、外国人医療の現状や問題点などを語った＝写真。(唐沢裕亮)

外国人医療を考える

中日1/9

外国人無料検診会 共生への道に向かって

医師ら葵区でシンポ



シンポジウム 外国人医療

十一月に同区の静岡厚生病院で開かれる「外国人のための無料健康相談と検診会」への参加者拡大を目指す、市内の医師や通訳らが開いた。

シンポジウムでは、内科、小児科、精神科の医師が外国人医療の難しさを指摘。通訳不在の中での診察、特定疾患のため帰国か日本滞在かの板挟みになる在日外国人患者の現状などを紹介した。

一方、今年で十三回目を迎える無料検診会については、代表の榎本信雄医師（内科）が「本当の意味で深刻な状況の外国人が来られない側面はあるが、外国人同士の社交の場になっている」と評価し、今後も続けていく考えを示した。

シンポジウムに先立ち、愛知県豊田市で外国人医療支援に携わる大谷かがりさんの講演もあった。

通訳不在、特定疾患…

問題点を指摘